

実践の重要性

山口新聞「東流西流」令和2年3月5日掲載

護身道の考え方のベースとなる脳力開発も並行して学びました。脳力開発は「他人のことを考える」「主体的に動く」「一面でなく全面を見る」「枝葉末節でなく中心を攻める」などの法則を学びます。

言葉は知っていることばかりですが、知っているだけでは役に立ちません。参加していた大阪の勉強会では、毎月一つの法則を取り上げ、実践してきた内容を発表するという進め方でした。

脳力開発を始めた頃、「他人のことを考える」がテーマでした。妻とぎくしゃくしていた時でしたので、仲良くしたいという願いで、妻が楽になりますようにと思いつきながら『布団上げ』をしました。

1週間ぐらいすると、妻と話しが自然にでき、話を聞けるようになり、他の家族も「最近お父さん感心やな、家のことをよくやっている」と言ってくれるようになりました。お願いしても聞き流されていた弁当も作ってくれるようになりました。

このように強い願望を持ち、簡単なことを実践するだけで、状況が改善できるようになり、どんどん脳力開発にはまっていきました。

実践事例を発表でき、先生からの的確なアドバイスを頂ける毎月の例会が楽しく、転勤するまで皆勤でした。